

平谷高原スキー場における新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策に対し、日鋼協が策定した「索道事業における新型コロナウイルス感染対策に関するガイドライン」を踏まえ平谷高原スキー場の実態に合わせた感染症対策を定めた。

1、 従業員の感染症対策

- 各自、体調管理の徹底に努める。
- 毎朝、自宅での検温を実施し 37.5℃以上の熱がある場合は出勤しない。また勤務中に体調が悪くなった従業員は必要に応じて帰宅させる。
- 勤務中はマスクやフェースシールドを着用する。お客様と接する場合は手袋を着用する。休憩中も密にならないよう努める。
- うがい手洗い、手の消毒をこまめに行う。
- 従業員が一定の距離を保つことができるよう人員配置を見直す。

2、 スキー場室内(レストラン・売店・レンタルハウス)における感染症対策

- 飛沫感染防止のため、各所にアクリル板やビニール設置。
- 従業員はマスク・手袋を着用する。
- 多くの方が触れる個所を把握し、定期的に消毒を行う。
- 各施設の入口に消毒液を設置する。
- 食堂のテーブルは、設置場所や椅子の数を工夫すると共にアクリル板を設置する。
- 低濃度オゾン発生器による消毒を行う。
- 使用された食器、レンタル用品等は都度消毒を行う。
- 定期的に換気を行う

3、 リフトにおける感染症対策

- 従業員はマスク・手袋を着用する。
- 随時搬器やリフト小屋室内等の消毒を行う

4、 パトロール隊

- マスク、手袋を着用する。
- 物品を使用した場合は消毒を行う。

○ゲレンデのパトロールの他、待機列の間隔や場内の混雑具合などを見回る。

5、 トイレ・更衣室・休憩室

○低濃度オゾンによる除菌を行う。

○ドアノブや手すり等多くの方が触れる個所を把握し、定期的に消毒を行う。

○定期的に換気を行う。

○入口に消毒液を設置し、トイレには手洗い用せっけんを設置する。

6、 お客様へのお願い

○来場前の検温、体調チェックをお願いします。

○受付時やリフト待ちの列にいる場合は間隔をあける。

○食毒液での手指消毒を行い、トイレ利用後はせっけんでの手洗いをお願いします。

○食事中の会話は控えめにし、極力前方を向いたままで座っていただく。